



三次中央会報

ロータリークラブ

事務所 / 広島県三次市十日市東 1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1245
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://mcrc.server-shared.com

例会場 / 広島県三次市十日市南 1-10-1
三次グランドホテル
例会日 / 月曜日 12:30~13:30

2022-2023 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

謹賀新年



- 本日のプログラム 新年例会 賀寿会員卓話
杉谷会員、松本会員、村竹会員
- 次回例会日時 2023年1月23日(月) 12:30~
- 次回プログラム ゲスト講演 三次市長 福岡誠志様

■第1368回例会記録

- 日時.....2022年12月12日(月) 12:30~
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ソング「我らの生業」.....全員

■開会挨拶.....沈 会長

会長 / 沈 勝 義
幹事 / 中 島 清 貴

●2022~23年度 国際ロータリーのテーマ



●2022~2023年度 三次中央RCスローガン
ロータリアンであることを強くイメージし、奉仕の喜びを分かち合おう

今年最後の例会です

皆さんこんにちは、本当なら次週はX'mas家族会を開催し、皆さんのご家族と共に、今年最後の例会を楽しく過ごして締めくくる予定でしたが、今年の夏にも劣らないコロナ感染者の増加を前に、家族会の中止を決断せざるを得ませんでした。楽しみにされていた方には申し訳ありません。代わりにX'masパーティーセットをお配りしますので、それぞれのご家族で楽しいひと時をお過ごしください。

3年前からコロナに振り回されていますが、当時とは比べ物にならない程の多くの感染者が出ている割には、行動制限などもなく、比較的通常の生活が過ごせるようになってきていますので、シオノギ製薬による治療薬も開発されましたし、おそらく来年からは、以前のような生活スタイルに戻るのではないかと、心待ちにしております。

さて、つい先日 国際ロータリー審議会からメールが届きましたので、一部を紹介します。

2022年12月 ロータリアンの皆さま

皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

2022年10月17日から11月1日までの間、国際ロータリーの決議審議会がオンラインで行われ

ました。RI 細則9.150.1.項に従い、審議会の決定報告書をお送りいたします。

今回の審議会には16件の決議案が提出され、採択された8件はすべてRI 理事会に推奨されました。理事会は今後の会合でこれらの案件を検討することとなります。

決議審議会または採択された案件に関するご質問は、審議会業務部にお問い合わせください。

次回の決議審議会に決議案を提出する期限は、2023年6月30日です。よろしく願いいたします。

国際ロータリー 審議会業務部スーパーバイザー サラ・クリステンセン (Sarah Christensen) という文章で、その後に8つの立法案についての説明が添付されていました。少し分かりにくいのですが、決議審議会で採択された議案が、今後のRI理事会で検討されるのでしょうか。16の決議案のうち、採択された8つは、過半数の得票を得た立法案として理事会に推奨されるわけですから、理事会では今後の実施に向けた検討をされる



ものと思います。

その8つの立法案ですが、立法案番号が22R-01、02、03、04、そして06、14、15、16となっています。詳しい内容については、ここでは差し控えますが、驚いたことにこの内の5つが、日本のクラブからの提案となっていました。残りはアルゼンチンからの1件と、フランスからの2件だけでした。

興味深かった1件だけ紹介します。決議案22R-01、加古川平成RC提案の「シニア会員が新入会員との交流の機会を増やすよう奨励することを要請する件」です。シニア会員との、様々な活動の場において、新会員が真の意味で歓迎されていると感じてもらえることが、会員基盤拡大の一助になるのではないかと呼び掛けていました。

私たちにも経験があると思いますが、先輩からの声掛けが、新会員にとっては何よりも励みになりますので、よろしく願いいたします。

最後に、今日の例会で今年最後となります。来年は1月16日が初例会で、圓藤宮司さんによる新年の神事も予定しております。約1か月という期間が空きますが、お元気な姿でお会いしましょう。終わります。

■幹事報告.....中島幹事

- 庄原ロータリークラブ創立30周年記念式典に出席の方は記入をお願いします
- ゴルフ同好会の収支報告書を回覧しています
- 本日は今年最後の例会です。来年は1月16日からです
- 1月16日理事役員会を19時より当グランドホテルにておこないます

■親睦委員会より.....山縣委員長

12月19日13時より16時の間、当グランドホテルにて、オードブル、ケーキ、ワインをお渡しいたします。ご家庭でクリスマスを楽しんでください。

■出席報告.....平田委員長

●第1366回 11月21日

会員数	35名	Make-up	0名
欠席	7名	出席合計	28名
欠席者のうち規定免除	2名	出席率	82.35%

●第1368回 本日の出席は35名中30名です。

■SAA.....石田SAA

●会員誕生日...信国君、和田君



●会員ニコニコBOXご出宝

- 沈君 無事今年最後の例会を迎えました。皆様
に感謝!(大口)
- 信国君 誕生日を迎えました。お祝いありがとうございます。
(大口)
- 和田君 兎の書き順知りました!ちょっとうれしい
73才。(大口)
- 角谷君 プログラム委員会担当です。卓話の3名様
よろしく。
- 井上君 3名の皆さん、卓話よろしく願いします。
栗本君 本日、卓話をします。
- 水野君 卓話をします。よろしく願いします。
- 沖君 杉谷さん、水野さん、栗本さん卓話よろしく
お願いいたします。和田さん誕生日おめでとう。
- 松本君 本年最終例会。来年もよろしく。
- 杉谷君 今年最終例会、ありがとうございます。
- 山縣君 今年最終例会、一年間お世話になりました。
来週はクリスマスオードブル、ご用意させて
いただきます。
- 平田君 来週はクリスマスオードブルをいただける
ということで、ありがとうございます。
- 阿部君 次年度理事役員発表、おめでとうございます。
- 石田君 良いお年をお迎えください。

ニコニコBOX本日出宝額 22,000円



いつまでも 健康でいるために

水野 重喜



皆さんこんにちは。4月に年男として話をした時は私が携わっている認定こども園を中心にお話をしましたが、今回は内容について悩みました。

今年年男で、84歳、ロータリーに入会したのは平成21年で既に高齢ではありましたが、まだまだ気持ちは若いつもりでいました。が、平成28年に100日間入院するという大病を患い、体力も気力も半減いたしました。きょうは、私が今一番気にしていることをお話させていただきます。

皆様はまだあまり気にならない事かもしれませんが、今、私は心身共にいつまでも健康でいられるように常に気をつけています。今は老夫婦二人で生活していますが、体も頭の回転も老いて来ていることを実感しています。

私が常に気をつけていること

①気持ち的には

昔から私は多くの人と接するのが好きでした。現在もこの気持ちは変わりません。多くの人と接することにより、いろいろ知識を得ることができます。また、緊張感を持ち続けることが大切と考え、実行しています。また、現在は二人でパズルにはまっていて、月に2冊は行い、応募しています。

②体力的には

如何に元気に過ごすことができるか。病気をする前はゴルフをしていましたが病気でやめました。体力を戻すのに約一年かかりました。予定がないときは毎日4,000歩以上歩いていました。その後、今はグランドゴルフに加入して体を動かしています。私が加入している団体は人数も多く、組織的に一番まとまっている団体です。

練習は週2回、1回でだいたい3,000～4,000歩、歩きます。大会も色々あり、かなりの大会に参加しています。大きな大会では300人くらいの参加者があります。成績は二の次でいかに体力を維持するかを心掛け、行なっています。

今、メンバーの中には僕より若くても病気になり治療をされている方がかなりおられます。本当

に人ごとと思えない気持ちです。

とにかく色々注意し、少しでも長く元気で過ごしたいと思い、努力をしています。以上、とりとめのないお話でしたが、ご静聴ありがとうございました。

本心(真心)で生きる

杉谷 優治



失礼いたします。4年ぶりの卓話になります。

少し振り返りますと、40歳の時に入会しまして現在29年経っているところです。入った当時の例会での緊張感は今でも忘れられませんし、当時から自信に満ち溢れた諸先輩方の物事への取り組み姿勢によって、現在の中央ロータリーの例会は、守り継がれていると思っています。

建築設計業を45年 関わらせていただきました。ここ3～4年前より官庁工事において解体工事、改修工事の設計業務が増加傾向にあります。皆さん解体工事に設計が必要かと問われるんですが、官庁の施設の場合、解体工事、改修工事においては、アスベスト、PCB、の分析、工事予算の計上のため設計を行います。

アスベストと言いましたが、皆さんも知っておかれるといいと思いますが、今年の4月から民間工事においても、解体工事、改修工事を行う場合、アスベスト含有事前調査を行い、工事規模により自治体に報告義務があります。報告義務者は事業者です。産廃については厳しくチェックが入ります。(外壁、防水、トイレ様式化、空調機、間取り、室内)

そんな中で、自ら設計した建物を自ら解体、改修設計した建物が5件ばかりあります。改修工事された建物は役目が繋がって行きますので、気持ち的にはうれしいです。解体工事された建物は役目を無事に終えたことで、気落ち的には楽になります。

これは1例ですけど「時の流れを」最近非常に感じるわけです。例えば車の自動運転、リモー

トワーク、リモート会議、FAX～メール等。生活、仕事にかかわることで、「こんなのがあったらいいな」という人間の欲望により進歩発展している人生を長く味わいたいと思っています。

2度とない今からの人生を考えると、私の「存在している理由」、「生きがい」、いまさら考えることではないですが、時々思い出して、自問自答しているところです。

この年にして心掛けたいなと思っているのが、本心(真心)で生きることだと思います。それには一つの戒めがあります。それは「人々の幸せを妨げることはしない」ということ。これは2年前に買った本から取り込みました。

最近先輩は、こう言われました。「頭で考えて決めないで最後は腹で決めなさい」と。

まとまりのない卓話になりました。ありがとうございました。

眼鏡認定資格について

栗本 清秀



先日と言いましても、ほぼ1ヶ月前になりますが、私の生業といたします眼鏡業界初の国家検定資格でありますところの、眼鏡作成技能士の資格を取得いたしました。

海外では、眼鏡の調整に携わるには3年以上の専門教育が必要となり、北米、ヨーロッパ、東アジアの諸国では専門教育がベースとなる公的資格が定められています。

私は高校卒業後、東京の日本眼鏡専門学校に入学し、2年の学生生活の後、卒業により2級眼鏡光学士という日本眼鏡協会認定の資格を得、就職したのち1年以内に協会の定めるテーマによる課題を提出し3年の専門教育課程を修了したと認められ、1級眼鏡光学士手取得が1983年夏でした。

現在母校は早稲田眼鏡専門学校と統合し、東

京眼鏡専門学校となっています。

私の取得した光学士の資格はあくまで協会認定資格なので、世間的には、特に眼鏡業界古株の皆様には“だからなに?”と思われる位のものです。

水面下では眼鏡業界に公的資格を、という声を持ち上がっては消える中で、2001年にいくつかあった協会の資格が日本眼鏡技術者協会の名のもとによりやく眼鏡関連唯一の資格として統合されました。

眼鏡専門学校卒業生はSSS,SS,S級となり、志ある眼鏡従事者の皆様は、AAA,AA,A級を受験され資格を得られましたが、現在はA認証もS認証に互換されました。

そして私の所持する1級眼鏡光学士はSS級認定眼鏡士に移行しました。

この眼鏡認定資格は日進月歩する新製品開発や技術力維持のため毎年セミナー受講や課題への回答が義務付けられ、3年に一度の資格更新とそれに伴う毎年一定金額の支払いがありました。このような負担を伴う中で、遅々として進まぬ公的資格への疑心からせつかく取得した資格を手放す方も少なからずおられました。

当三次市におきましても、協会員は数人おりましたが、協会名簿によりますと、現在では当社のSS級3名のみ登録となっているようです。

本年2022年春より、国家検定資格となる眼鏡資格技能士の一般試験が1級2級それぞれの実務経験や技能の区分により実施され、我々実務者の旧来資格者は夏にSSS級とSS級が1級、S級が2級の特例講習を受けたのち修了試験を持って取得となり、当社も3名1級資格を取得できました。

国家検定資格とは、国家資格とは異なりその資格がないと業務に携われない資格ではなく、業界での技能レベル認定です。

しかしながら、眼鏡業界が旧態から大きく変化したと思われまます。

我々実務者の視点から見ても、新規の学科試験の難易度は高いと思われまますので、眼鏡業界の今後はレベル底上げが図られるものと思われまます。取り残されないよう頑張ります！